

# 2024 年度事業計画

## I 施設の設置・運営事業 《公益目的事業》

WAC法に基づく施設(疾病予防運動センター・高齢者総合福祉センター・在宅介護サービスセンター・有料老人ホーム)の設置および運営。

☆ウエル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 (厚生労働省WAC認定事業：1990年10月17日付)

☆ウエル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 (厚生労働省WAC認定事業：1994年12月15日付)

※WAC(ウエルイジングコミュニティ)事業:

1989年に厚生省(現厚生労働省)が「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業」としてスタートさせた施策で、地域で暮らす高齢者が健康で安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざして、地域全体に社会福祉サービスを提供するために、健康・福祉施設を総合的に整備する事業

### ① 疾病予防運動センター

「ニッセイ・アーク西大和」(ウエル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC第1号施設)

地域社会との連携・交流

- ・地域会員の満足度を上げるべく、より付加価値の高いサービスの提供に注力して取り組む。
- ・地域会員数増加に向け、折込チラシ及びポスティングを強化、またWEB媒体によるクラブPRを徹底する。
- ・定期的な館内のリニューアルを計画し、「安全」「清潔」「便利」な施設設備を整え、顧客満足度の向上を図る。

「ニッセイセントラルフィットネスクラブ松戸」(ウエル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC第1号施設)

地域社会との連携・交流

- ・松戸市が日本経済新聞社「共働き子育てしやすい街ランキング2023」にて1位となったことを受けて、ファミリー層も対象としてより幅広い年齢層の地域住民に、運動を通じた健康や生きがいづくりをサポートする。
- ・商圈を半径2キロ圏から3キロ圏に拡大し、新興住宅地へのポスティングを実施することで、より多くのファミリー層の需要を喚起する。地域イベントに参加し、地域活性・地域貢献に努める。
- ・引き続き感染症対策に努めると共に、燃料費削減策および節電対策を徹底実施し、安全で効率的な運営を行う。
- ・パーソナルトレーニング、スモールレッスン、イベントなどを強化することで、明日も来たいと思っただけの魅力ある施設として、継続的な健康増進活動を支援する。

## ② 診療所

「ニッセイ聖隷クリニック」(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 第1号施設付置診療所)

地域社会との連携・交流

- ・複合施設の強みを活かし、地域が求めているサービスを検討し、実践する。また、レスパイト入院は継続する。
- ・がん患者の増加に伴い、痛みを取り除き安心した入院生活を送っていただくため、病棟における緩和ケアの強化。
- ・2024年3月の電子カルテ導入に伴い、まずは安定稼働を目指し、稼働後は業務の効率化及びICTを利用した診療予約体制の構築を行う。

「松戸ニッセイ聖隷クリニック」(ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 第1号施設付置診療所)

地域社会との連携・交流

- ・外部医療機関や園内各部門と連携した退院支援、退院調整の実践により、地域の医療資源の適正な利用に貢献する。また利用者の関心が高い、看取り、ターミナルケアの質向上に努める。
- ・隣接する松戸市立東松戸病院の閉院に伴う患者の受け入れ態勢と指定病院との連携強化を図る。
- ・ハラスメント対策など働きやすい職場風土の醸成とサイバーセキュリティなどのリスクへの体制整備を行う。

## ③ 高齢者総合福祉センター

「ふれあいプラザ」(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 第2号施設)

地域社会との連携・交流

- ・2024年1月より4年ぶりに大ホールイベントを再開。感染症対策に十分配慮したうえで開催を継続する。
- ・講師の高齢化を鑑み中期的な教養講座の安定的開催のため、新規招聘に向けた調査を積極的に行う。

「ニッセイ松戸アカデミー」(ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 第2号施設)

地域社会との連携・交流

- ・コロナ禍で休講していた教室を再開し、全10教室を開講中。さらに気軽に取り組める体験教室を新規に開講して会員増を図る。
- ・入居者も参加できるコースや新たな音楽ジャンルも盛り込むなど、コンサート内容を工夫していく。またコンサート以外の文化イベントの実施も推進し、イベントのバリエーションを増やしていく。
- ・ニッセイグループとの共催イベントや、地域の福祉施設による出張販売及び地域の教室の展覧会等、地域交流拠点としてのイベントを実施する。

#### ④ 在宅介護サービスセンター

「ニッセイせいらい在宅介護サービスセンターヘル西大和店」

(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 3号施設)

地域社会との連携・交流

- ・地域事業所との信頼関係を構築し、ともに事業継続・維持できる連携体制をとる。
- ・利用者の生活の質の維持、向上を目指した福祉用具貸与、介護用品販売の提案、促進を図る。
- ・自然災害発生時における BCP に基づき地域との協力体制を強化する。

「ニッセイエデン ヘルパーステーション」(ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 3号施設)

地域社会との連携・交流

- ・人材確保に努め、地域のニーズに応える体制を構築する。
- ・地域の訪問看護ステーションなどとも連携して認知症、看取り介護について機能向上を図る。
- ・園内各部門と連携し、入居者に対するサービス提供を推進する。

#### ⑤ 有料老人ホーム

「奈良ニッセイエデンの園」(ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 第4号施設)

1. 理念である「健康・生きがい・安心」のある生活を感じて頂けるようエデン包括ケアシステム推進を継続。「誰一人取り残さない、その人らしく最期まで支える体制」をより具現化し、入居者との日常接点頻度の可視化、介護予防室（仮称）の創設、緩和ケアの強化、認知症早期発見ツールの導入、マイメモリーシート（入居者人生録）の活用、人生会議手帳のデータ化を推進し、独自の優位性の確立を目指す。
2. 地域社会との連携・交流
  - ・地域との災害時における防災協定締結（高塚台 1・3 丁目自治会）による協力体制を持続させるため、自治会の防災訓練や清掃など各種活動にも積極的に参加する。
  - ・入居者・職員による河合第二小学校児童の下校見守りボランティアを継続する。
  - ・いきいき生活室を中心とし、ご入居者ボランティア「虹のわ」の活動を活性化し、「エデン包括ケアシステム」において、生きがい作りや共助の精神を育ていけるよう取り組む。また、幼稚園児や地域住民との交流を更に深め、子供たち～高齢者までの多世代が安心して暮らせるまちづくりに寄与できるよう努める。
3. 水光熱費を始めとする諸物価の高騰や採用困難などの不安定要素を乗り切るため、また ICT 化、障がい者・外国人雇用などの課題解決にむけ、組織として多様性受容と変化への適応力が求められている。直面する課題に主体的に取り組む基盤となる職員の心理的安全性への取り組みを継続する。また、職場間の交換研修を推進し職員自身が WAC 施設の強みを認識し、各自の能力を最大化できるよう努める。
4. 「虐待・不適切ケア 0 ミッション」の下、基本的な接遇の徹底による職員の意識向上と不適切ケアの防止に努め、必要な設備整備を検討する。

「松戸ニッセイエデンの園」(ウェル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 W A C 第 4 号施設)

1.地域社会との連携・交流

- ・松戸市との災害避難所協定の継続
- ・地域の医療ケア児への広域停電時の緊急避難場所提供
- ・フードバンク活動への推進など、SDGs を意識した社会貢献活動の取り組み

2.ハラスメント対策など品位ある園の雰囲気継承と働きやすい環境づくり

3.部署間連携や業務の標準化、可視化を推進し、サービスの質の向上や効率化に取り組む。

4.外壁や大浴場の大規模改修工事を実施し、建物の永続的な質向上を図る。

5.処遇改善や採用方法の改善により人材確保を図る。

6.プロセスで質を担保する仕組みを定着させ、安定したサービス提供ができるよう努める。

7.物価上昇、賃金上昇を踏まえた効率的な経営を目指す。

## II 調査研究事業 《 公益目的事業 》

(1)W A C 事業の展開の中で、高齢期の「健康」「生きがい」「安心」「住まい」の 4 分野(以下「4 分野」という)に関するノウハウ・スキルの研究と成果の情報提供

1.W A C 事業に関連して、高齢期の生活向上に関するテーマで調査研究を実施。

- ・インクルーシブ施設等を題材に、多世代が交流し「well-being」を高めることができる環境形成には何が必要か調査し、「だれもが安心して、安全に、健やかに、そしていきいきと生活できる、より良い地域社会づくり」の実現に向けて、新たな環境デザインを提言する。また当研究成果を、将来的に「インクルーシブ施設」の構想を検討するための材料とする。

2. 聖隷福祉事業団・日本老人福祉財団と共催する「有料老人ホーム実践研究発表会」にて、各施設の研究成果を通じて情報共有を行い、入居者に満足いただける施設運営を模索する。

(2)地域住民等への 4 分野に関する情報提供活動の実施

1. 有料老人ホーム等の高齢者施設の情報提供の一環として、4 分野に関わるテーマによるイベントやセミナーを開催するとともに、高齢者の理解と援助を推進する外部イベントへ参加する。
2. 11 月の「介護の日」では、奈良・松戸両施設内にて介護イベントを開催し、地域高齢者およびその家族に向けた介護・医療・福祉の知識向上への取り組みを継続する。

### Ⅲ 奨学金助成事業 《 公益目的事業 》

介護事業を担う人材の育成を支援する観点から、介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を目指す学生に奨学金を支給。

(新規募集 25 名、継続 25 名、合計 50 名、1 名当たり年間 24 万円を支給)

「介護人材不足」解決の一助となるよう、日本語学校に通う外国人留学生で、かつ介護福祉士を目指す学生に対して、介護福祉士養成施設への入学金相当額のサポートを継続。

(新規募集 10 名、1 名当たり一律 20 万円を支給)

### Ⅳ 施設の設置・運営事業 《収益事業等 その他事業 1》

個々人の健康状態及び体力に合わせた適切な指導のもとで、運動、機能訓練を行うための施設を設置、運営し、健康維持、疾病予防に資するための事業のうち、60 歳未満の利用者を対象とするもの。

#### ① 疾病予防運動センター

「ニッセイ・アーク西大和」(ウエル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 WAC 1 号施設)

地域社会との連携・交流

- ・地域会員の「入会獲得・会員数増」を軸に、客単価を上げる施策に注力し取り組む。
- ・地域会員数増加に向け、折込チラシ及びポスティングを強化、また WEB 媒体によるクラブ PR を徹底し、会員獲得に繋げる。
- ・定期的な館内のリニューアルを計画し、「安全」「清潔」「便利」な施設設備を整え、顧客満足度の向上を図る。

「ニッセイセントラルフィットネスクラブ松戸」(ウエル・エイジング・プラザ 松戸ニッセイエデンの園 WAC 1 号施設)

地域社会との連携・交流

- ・松戸市が日本経済新聞社「共働き子育てしやすい街ランキング 2023」にて 1 位となったことを受けて、ファミリー層も対象としてより幅広い年齢層の地域住民に、運動を通じて健康や生きがいづくりをサポートする。
- ・商圈を半径 2 キロ圏から 3 キロ圏に拡大し、新興住宅地へのポスティングを実施することで、より多くのファミリー層の需要を惹起する。地域イベントに参加し、地域活性・地域貢献に努める。
- ・引き続き感染症対策に努めると共に、燃料費削減策及び節電対策を徹底実施し、安全で効率的な運営を行う。
- ・パーソナルトレーニング、スモールレッスン、イベントなどを強化することで、会員から明日も来たいと思っただけの魅力ある施設として、継続的な健康増進活動を支援する。

## V 施設の設置・運営事業《収益事業等 その他事業2》

公益目的事業における介護を必要とする高齢者の家庭生活支援を目的とした施設（在宅介護サービスセンター）のサテライト拠点、また当該施設と関連・連携する医療、介護等各種施設の設置及びこれらの事業。

### ① 介護老人保健施設

「奈良ベテルホーム」（ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 W A C 併設施設）

1. 地域社会との連携・交流
  - ・利用者が毎日の生活を楽しめるよう、食べる楽しみや生きがい作りができるよう、家族も交えて共に考え実行する。
  - ・河合町、社会福祉協議会と連携し、SDGs 含めた地域支援活動（体操、講演）を実施する。
  - ・在宅版人生会議の取り組みを検討し実行にうつす。
2. 相談員、施設ケアマネが中心となり、柔軟な受け入れ態勢の流れや利用者数、収支状況を全職員が把握し、入所、短期入所、通所リハビリテーションの安定した経営を目指す。
3. 感染予防に努め、利用者に感染時対応訓練の実施を行い、安心した生活を送ってもらう。
4. 不適切ケア、身体拘束、高齢者虐待の防止を宣言し、接遇の向上に向け取り組む。

### ② 訪問看護ステーション

「訪問看護ステーション西大和」（ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 W A C 併設施設）

地域社会との連携・交流.

- ・小児訪問看護の受け入れに向けた、勉強会、研修会の参加し基盤を作る。
- ・医師、ケアマネジャー、他事業所との連携を図り信頼の得られる事業所を目指す。

### ③ ケアプランセンター

「ニッセイせいいいケアプランセンター西大和」（ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 W A C 併設施設）

地域社会との連携・交流

- ・支援が必要な利用者を取り残さないために保険者、地域包括支援センターと連携する。
- ・地域防災マニュアルの確認と災害時の各関係機関との協力体制を策定する。